

人はみな、
生かされて
生きてゆく。
更生保護ネットワーク

薩摩保護区保護司会 広報紙

2015
5月
創刊号

保護司会だより

編集・発行：薩摩保護区保護司会 薩摩川内市・さつま町 薩摩川内市大小路町14番5号（薩摩川内市中央公民館内） ☎0996-41-6196 FAX 0996-41-6196



発行にあたり



薩摩保護区保護司会
会長 田中 実
（たなか みのる）

この度、薩摩保護区保護司会で地域の皆様に更生保護事業あるいは保護司の仕事についてご理解いただく会報を発行することになりました。

保護司の仕事は大きく分けて二つあります。犯罪や非行をしてしまった人たちが、スムーズに社会復帰できるように改善更生を手助けすること。もう一つは犯罪や非行のない明るい社会づくりの啓発活動です。

薩摩保護区は薩摩川内市とさつま町がそのエリアですが、現在七十七名の会員が保護区内を五つの支部に分け、更生保護女性会やBBS会の皆さんと連携を図りながらそれぞれの地域で活動を続けています。

かつては保護司の活動は地域の方たちにわからないようにするべきと言うことでありましたが、平成十一年に保護司法が改訂され保護司は積極的に地域活動に参加し、更生保護事業を理解してもらうよう方向転換されました。『社会を明るくする運動』の充実、学校との連携、就労支援、生活困窮者への対応等々保護司の果たす役割は一層重くなっております。

また、法務省が積極的に進めておりましたサポートセンター設置を薩摩川内市のご理解ご協力のもと昨年六月、薩摩川内市中央公民館内に「薩摩地区更生保護サポートセンター」として開設させていただきました。今後の保護司会活動の拠点として有効に活用させていただきたいと思っています。

この会報の発行を機に保護司会活動の充実を図り、地域の皆様との連携を深めることができればと願っております。



保護司とは

現在、薩摩保護区(薩摩川内市、さつま町)には、法務大臣の委嘱を受けた77名の保護司がそれぞれ更生保護活動に携わっています。

年齢は27歳から75歳まで幅広い年齢層で構成され、又、職業も市議や僧侶、自営業者や勤め人、主婦の方々など多岐に亘っています。

私たちは、非常勤の国家公務員という身分を持っていますが、民間のボランティアです。委嘱を受けた各保護司は、それぞれが自分のライフワークの一つとして一生懸命取り組んでいます。

罪を犯した人、非行をした人は法律によって何らかの処分を受けますが、この人々も地域社会の一員として生活していく必要があります。

私たち保護司は、このような人々を地域の中で適切に処遇し、そして、この人々が再び罪を犯したり、非行を繰り返したりしないように立ち直りを助ける義務があると思います。私たちの主な活動を挙げると、

保護観察

私たちが最も多く経験する重要な仕事です。罪を犯した人や非行をした人との



事務局長兼
サポートセンター長
福山 義幸
ふくやま よしゆき

面接を通じて、更生するための守りごとを遵守するよう指導するほか、立ち直りを助けるための生活上の助言を行います。

生活環境調整

刑務所や少年院に収容されている人が、釈放後にスムーズに社会復帰できるように帰住予定地の調査や引受人との話し合いを重ね、必要な受け入れ態勢を整えます。

犯罪予防活動

犯罪や非行を未然に防ぐため、地域社会の健全化の為に種々の啓発活動を行っています。又、社会を明るくする運動として小中学校の児童生徒に作文コンクール参加をお願いします。

以上のほか、会員が参加する年4回の定例研修と、地区毎に保護司が集まってお互いの活動状況を発表し合う地域処遇会議を開催し研鑽を重ねています。

最後に、刑務所等の出所者は、犯罪・非行の前歴がある為に定職に就くことが容易ではありません。このような人々を理解した上で雇用し、更生に協力して頂く協力雇用主さんを発掘することも、これからの保護司会の大きな課題と考えています。

更生保護:立ち直りを支えるしくみ

罪を犯した人たちの立ち直りを助け、再び犯罪や非行に陥るのを防ぐしくみを更生保護といいます。

更生保護ボランティアとしての直接的な支援

地域社会に 復帰

地域の人たちの理解と協力

保護司としての支援

保護司は、刑務所や少年院から出て「保護観察」を受けることになった人などを指導し、相談にのったり、様々な支援を行う民間のボランティアです。

住居が必要

地域との 絆が必要

仕事が必要

“社会を明るくする運動”に参加する。

刑務所や少年院、職業訓練などで作ったものを購入する。

更生保護ボランティアを支援する。

協力雇用主や更生保護施設の職員として支援

更生保護女性会員やBBS会員として支援

罪を犯した人の立ち直りを見守り、彼らの存在を受け入れる

協力雇用主

罪を犯した人の前歴に関わらず雇用することで、立ち直りに協力する民間の事業者です。

更生保護施設

刑務所出所者等に対して、宿泊場所や食事を提供し、自立に向けた支援を行う民間の施設です。

更生保護女性会

女性としての立場から、地域の犯罪予防活動や子育て支援活動などを行うボランティア団体です。

BBS会

(Big Brothers and Sisters Movement) 兄や姉のような身近な立場から非行少年等の成長を手助けする青年ボランティア団体です。

立ち直りへ

第63回(2013年)

"社会を明るくする運動" 作文コンテスト

中学生の部 日本BBS連盟会長賞(優秀賞) 受賞

言葉の力を信じて

鹿児島県学校法人
川島学園れいめい中学校 一年

恒吉 玲佳

最近、いじめに関する報道が連日のように取り上げられています。残念なことに私と同じ中学生がいじめが原因で自らの命を絶っている事件も珍しいことではありません。そして、その中でも必ず「キモいウザい」などの言葉が発せられており、このような悪意に満ちた言葉でなかったら、その命は助かっていたかもしれないと思うと、私は自分自身の体験と重ね合わせやくてたまりません。

私は小学生のころ、特定の女子からひどい言葉を言われていた時期がありました。突然、私が驚くような言いがかかりをつけてきたり、悪口を広められました。通りすがりに「死ね」と言われたときには、自分の耳を疑ったほどです。彼女が発したその言葉はあまりにも衝撃的でした。私にとっての「死」は、大切な祖父母が病気になり治療のかいなく亡くなり家族でその悲しみを乗り越えてきた、その経験そのものであり、それが私の感じるどころの「死」だったのです。彼女の言葉の意味することが、ゲームの中の簡単にリセットできる「死」であったのかどうかは分かりません。その後、彼女は私だけでなく他の友人にも同じような言動をして、結果、彼女自身が孤立することになりました。

言動には、「言霊」というエネルギーが宿っていて、軽視できない力を持っているということを以前本で読んだことがあります。言霊がポジティブにもネガティブにも、その言葉が発した本人やその周辺に返ってくるというのです。人を傷つけ、人の心を暗くするような言葉もあれば、元気を失った心を救ってくれる言葉もあります。私が悩んでいたころ、私の心の支えになり助けてくれたのも、友人の言葉でした。

「みんな分かっているから。大丈夫」私は言葉によって傷つき何ともいえないむなしい響きを感じ、また、言葉によって勇気をもらいました。言葉がどれほど人に影響を与えるものか、言葉の力を実感し考えさせられました。

私たちは言葉を使うことによって、相手とコミュニケーションをとっています。言葉が人に与える力は大きいからといって萎縮して、「何も話ができない」では何にもなりません。自分の発言が誤りであり、相手を傷つけたのであれば言葉の力を借りて正直に謝罪すればいいのです。

言葉は自分を主張し、相手を動かすことができます。自ら発した言葉で人の心を和ませ周囲を明るくすることもできます。人はその輪を広げ、みんなの意識を変え、いじめや犯罪のない明るい社会へ変えていくことができると私は信じています。今、私ができる最大のことは、私自身がポジティブで生き生きとした力強いメッセージの発信源になることだと思います。

平成27年度薩摩保護区保護司会役員名簿

支部名	役職名	氏 名	備考
南	会 長	田 中 実	
北	副会長	川 畑 明 則	
東	副会長	永 山 伸 一	
北	事務局長	福 山 義 幸	サポートセンター長
南	会 計	加治屋 卓 朗	

支部名	役職名	氏 名	備考
北	理 事	伊 東 正	北支部長
南	理 事	鹿子木 努	南支部長
東	理 事	村 原 政 和	東支部長
西	理 事	蔵 元 保 海	西支部長
さつま	理 事	福 山 道 徳	さつま支部長

平成27年度薩摩保護区保護司会学校連絡保護司名簿

支部名	氏 名	学校連絡保護司
南	福 元 二三也	永利小、川内南中
南	宮 田 羊 子	永利小
南	小 原 静 雄	平佐東小
南	井 上 光 男	峰山小、高江中
南	若 田 吉 朗	平佐西小、川内中央中
南	加治屋 卓 郎	平佐西小
南	永 留 博 文	川内南中
南	野 平 誠	川内中央中
南	藤 崎 睦 子	隈之城小
南	鹿子木 努	平佐西小
南	右 田 健 二	川内南中
南	古 賀 玉 樹	川内小、川内中央中
南	有 馬 貞 喜	平佐西小
南	松 元 邦 明	川内小、川内中央中
南	中 内 カ ネ	川内小
南	山ノ内 文 夫	峰山小、高江中
南	久木野 勲	隈之城小、川内南中
南	吉 内 孝 徳	川内小
南	田 中 実	れいめい中
南	中 川 一 郎	隈之城小、れいめい中

北	松 下 和安来	可愛小
北	福 山 義 幸	亀山小、可愛小、川内北中
北	天 野 高 之	可愛小
北	小田原 勇次郎	可愛小、川内北中
北	伊 東 正	育英小、川内北中
北	宮 田 修 一	育英小、八幡小、川内北中
北	山 元 昭 子	高来小、平成中
北	柏 木 謙 一	水引小
北	神 田 隆 美	育英小
北	熊 川 正 文	平成中
北	村 尾 重 信	水引小
北	石 田 幹 雄	水引小、水引中
北	川 畑 明 則	水引小、水引中
北	加 藤 信 行	亀山小
北	黒 屋 善 文	亀山小
北	下 園 絹 子	水引小、水引中
北	亀 田 信 暁	水引小
北	大 園 喜一郎	育英小、八幡小

支部名	氏 名	学校連絡保護司
東	中 村 健一郎	山田小
東	上 戸 勇	東郷小
東	水 流 信 雄	大馬越小、入来中
東	牟 禮 貞 雄	樋脇小、市比野小、樋脇中
東	村 上 眞理子	市比野小、樋脇中
東	堀 内 伊津子	副田小
東	村 原 政 和	黒木小、祁答院中
東	瀬戸山 義 弘	樋脇小、樋脇中
東	初 田 健	入来小
東	平 林 輝 美	大夷小、祁答院中
東	北 原 一 利	上手小、祁答院中
東	田 代 幸一郎	鳥丸小
東	永 山 伸 一	藤川小、東郷中
東	岡 野 龍 信	蘭牟田小
東	山 下 浩 一	南瀬小
東	村 岡 文 正	朝陽小
東	太 田 純 一	樋脇小、樋脇中

西	小 村 昌 治	鹿島小
西	加 来 賢 隆	手打小、海陽中
西	下 江 伊八郎	海星中
西	野 島 秋 彦	里小、里中
西	蔵 元 保 海	中津小、上甕中

さつま	徳 留 昇	山崎小、山崎中
さつま	久 保 泰 文	佐志小
さつま	山 下 英 雄	盈進小
さつま	中 山 幸 男	宮之城中
さつま	三 腰 鈴 子	泊野小
さつま	新 改 幸 一	盈進小
さつま	小椎八重 巳 年	平川小
さつま	柏 木 幸 平	白男川小
さつま	宮 サダ子	盈進小
さつま	東 哲 雄	鶴田小、鶴田中
さつま	大 野 靖 孝	鶴田小、鶴田中
さつま	宮之脇 金次郎	紫尾小、柊野小
さつま	川 口 憲 男	柏原小
さつま	福 山 道 徳	求名小
さつま	水 口 憲 一	永野小、薩摩中
さつま	勝 田 俊 治	山崎小、山崎中
さつま	手 塚 良 平	流水小

次の様な事に利用できます。

1. 地域住民からの犯罪・非行に関する相談の窓口
2. 地域における関係機関・団体との連絡・協議
3. その他更生保護に関する活動（ご相談下さい）

所在地

薩摩川内市大小路町14番5号（薩摩川内市中央公民館内）

名 称

薩摩地区更生保護サポートセンター（薩摩保護区保護司会事務局）

電 話

0996-41-6196

FAX

0996-41-6196